

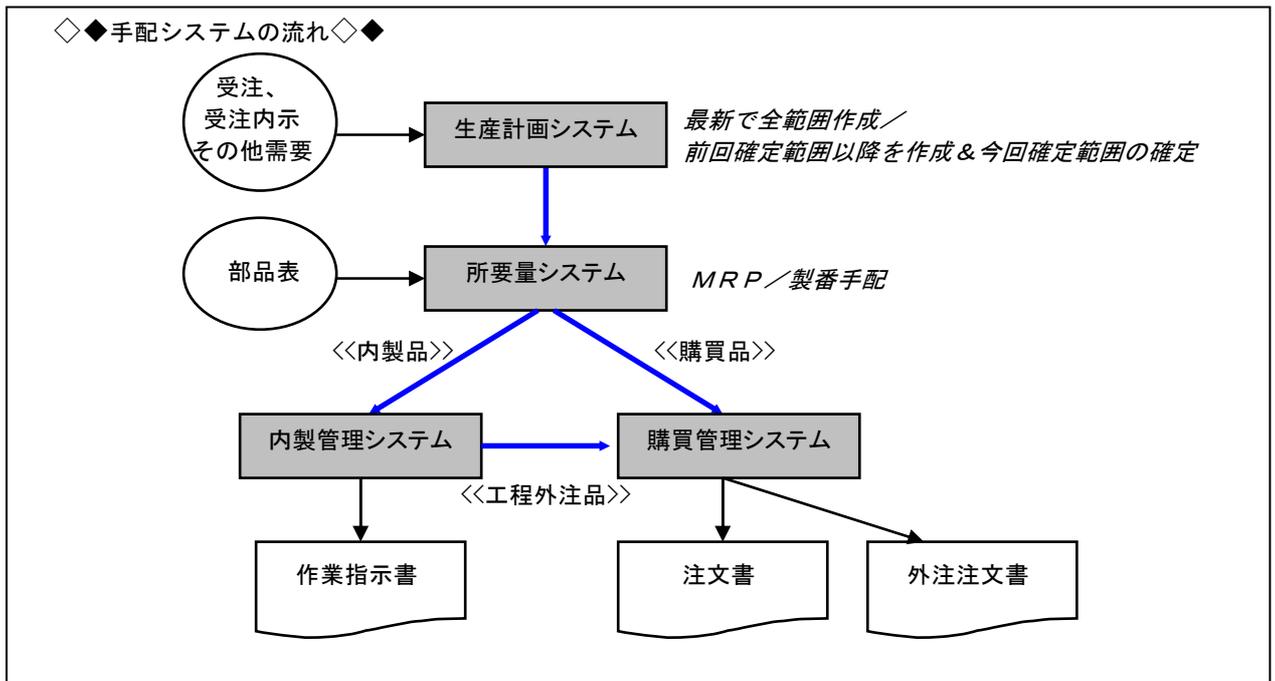
## 2-5 生産計画

AToMsQubeでは、生産計画は、受注情報及び受注内示（購買計画）情報、その他需要情報により、ベースが立案されます。そのベースに対し、自社の判断で、見込み数を登録したり、負荷の平準化を考慮して生産日の変更や計画の分割を行ったりして、自社としての生産計画を立案します。

また、ベース立案の際、あらかじめ設定したパラメータにより、自社の計画立案期間で作成され、品目の安全在庫やロットサイズも考慮されます。安全在庫やロットサイズで本来の必要数より多く立案された生産計画は、次の生産計画で引当てられます。

生産計画を確定すると、この結果は、基準日程データとして所要量計算に利用され、購買計画・内製管理へと情報が連携されます。

※その他需要：設備変更による溜め込み生産指示、半製品の生産指示 等



AToMsQubeでの生産計画業務は以下の流れを基本としています。

### ①事前準備

- ①-1 完全受注生産か否か：「全品目完全受注生産設定」（システムパラメータ）
- ①-2 生産計画立案期間：「生産計画作成期間(月数)」（システムパラメータ）
- ①-3 立案洗替対象外期間：「立案洗替対象外期間」（システムパラメータ）
- ②-1 見込み生産か否か：「計画区分」（品目マスタ）
- ②-2 生産計画立案期間：「生産計画作成期間(月数)」（品目マスタ）
- ②-3 立案洗替対象外期間：「立案洗替対象外期間」（品目マスタ）

※システムパラメータと品目マスタで同じ項目は品目マスタの設定内容が有効になります。

※生産計画の立案処理では、その生産計画立案期間の範囲で生産計画を作成し、立案洗替対象外期間(確定期間)の範囲で、生産計画を確定します。

前回までに確定された範囲の生産計画の変更は行わず、今回の確定範囲以降で生産計画を立案します。（確定済みの生産計画は変更されません。）

当日から立案洗替対象外期間の日数分の範囲を確定期間とし、システムが自動で変更する事はありません。手動による変更は可能です。

### ②生産計画作成（夜間バッチ処理か画面バッチ起動処理）

受注情報、受注見込み情報から生産計画情報を新規作成します。

### ③生産計画立案（夜間バッチ処理か画面アップロード処理）

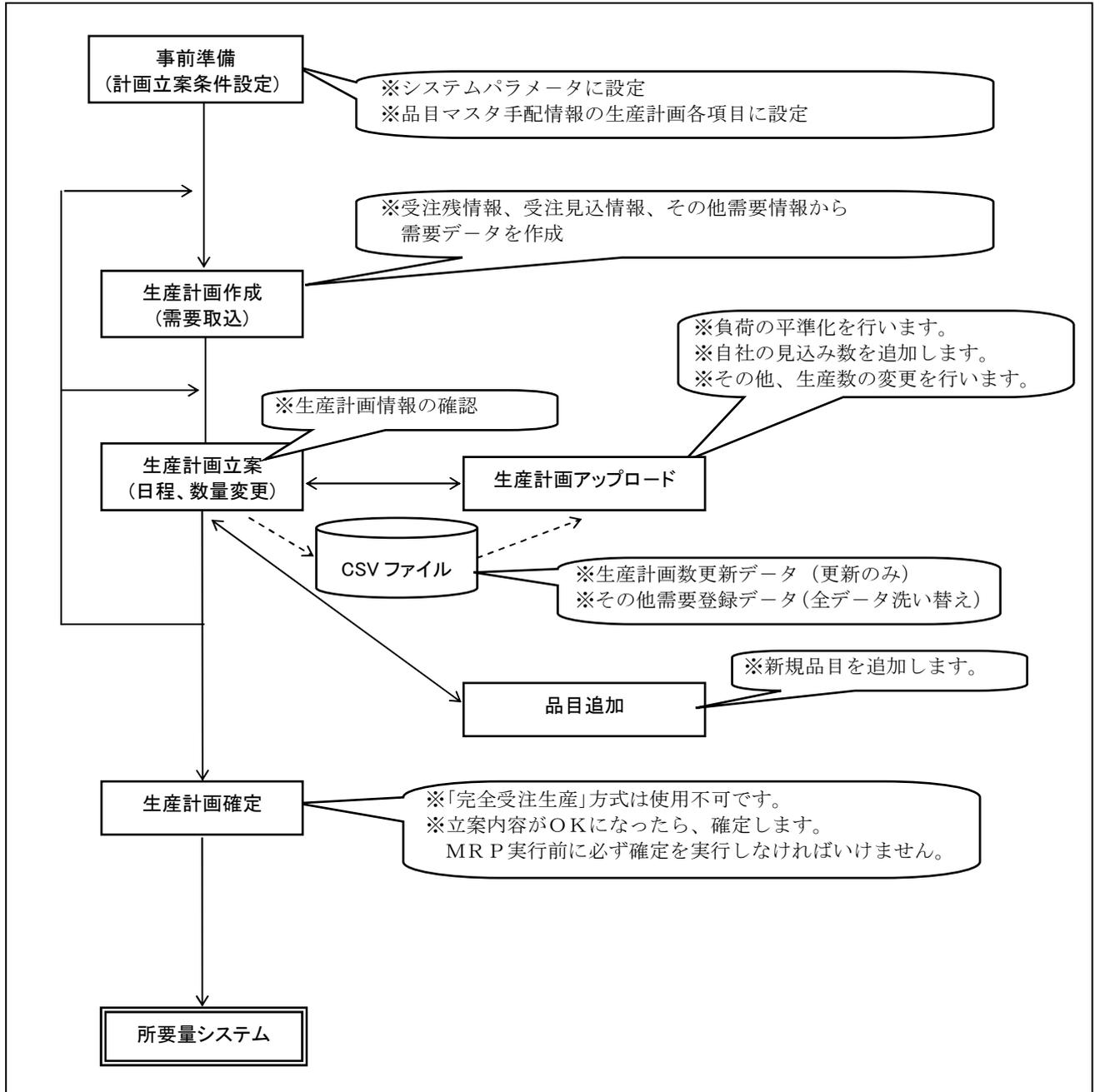
作成された生産計画情報を元に、その他需要情報を登録、生産計画数の変更を実施し日別生産計画立案数を設定します。

### ④生産計画確定（夜間バッチ処理か画面バッチ起動処理）

最終的な日別生産計画数を確定して、基準日程情報を作成します。

この基準日程情報が次処理の所要量計算処理のインプット情報となります。

生産計画業務の処理の流れ



**AToMsQube**では、生産計画立案の考え方が、3パターンに分かれます。

※完全受注生産方式、受注生産方式、見込み生産方式の3パターン  
生産計画立案パターンは、システムパラメータ「全品目完全受注生産設定」と  
品目マスタ「計画区分」の組み合わせで決まります。  
この違いについて下記に説明します。

パラメータ項目	パターンA	パターンB	パターンC
「全品目完全受注生産設定」	1	0	0
「計画区分」	—	0	1

※「全品目完全受注生産設定」（システムパラメータ）

0：生産計画立案数の設定可 1：生産計画立案数の設定不可

※「計画区分」（品目マスタ）

0：受注生産品目 1：見込み生産品目

◆パターンA（全品目完全受注生産方式）

登録された受注情報、受注見込み情報及び生産計画アップロード機能から登録された  
その他需要情報をインプットにして、基準日程情報を作成します。

このパターンの場合、生産計画数の納期、数量は変更する事が出来ません。

得意先の受注情報、受注見込み情報、その他需要情報通りの生産を進める事になります。

※この方式は会社全体での設定となりますので、品目単位に「計画区分」を設定しても、  
有効にはなりませんので注意して下さい。

◆パターンB（受注生産方式）

登録された受注情報、受注見込み情報及び生産計画アップロード機能から登録された  
立案数更新情報、その他需要情報をインプットにして、生産計画立案情報を作成します。  
生産計画立案情報を元に、必要な生産計画情報の数量変更、納期変更を行いません。

生産計画情報が決定したら、確定を行います。その時に生産計画情報の品目で在庫引当を  
実施し、不足している数量で基準日程計画情報(正味所要量)を作成します。

※品目単位に「計画区分」を設定する事が可能です。

◆パターンC（見込み生産方式）

登録された受注情報、受注見込み情報及び生産計画アップロード機能から登録された  
立案数更新情報、その他需要情報をインプットにして、生産計画立案情報を作成します。  
生産計画立案情報を元に、必要な生産計画情報の数量変更、納期変更を行いません。

生産計画情報が決定したら、確定を行い、生産計画の納期、数量で

基準日程計画情報(正味所要量)を作成します。（在庫があっても引当の考慮はされません）

※品目単位に「計画区分」を設定する事が可能です。

生産計画には、下記の2個の機能があります。

- 生産計画一覧
- 生産計画アップロード

生産計画一覧

登録された受注情報、受注見込み情報及び生産計画アップロード機能から登録された立案数更新情報、その他需要情報で需要データを取り込みます。(需要取込ボタンで実施) 取り込んだ需要データを元に、立案期間内かつ立案洗い替え対象期間外の期間の生産計画情報を作成します。(需要→生産計画ボタン)

立案した生産計画情報を確定生産指示として基準日程情報を作成します。(確定ボタン)

※「完全受注生産方式」の場合は、需要→生産計画ボタンで基準日程情報まで作成する為、確定ボタンは使用出来ません。

※品目追加ボタンは新製品や試作品を生産する時に必要な品目を追加する時に使用しますが「完全受注生産方式」の場合は、確定ボタンと同様に使用出来ません。

※MRP処理の前に確定を行わないとMRP処理結果に反映されませんので注意して下さい。

※画面のシフト項目は、標準カレンダーに指定いるシフトパターン設定に影響します。

(シフトの考え方は第2章-11「マスタ管理」「カレンダー種別マスタ保守」を参照下さい)

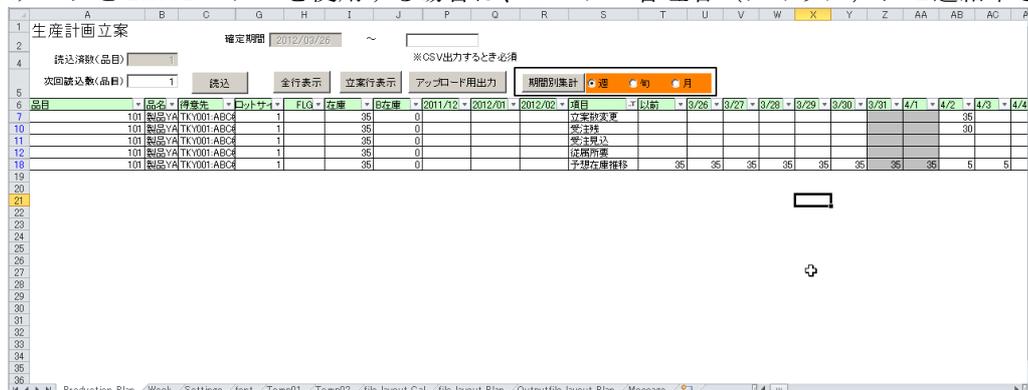
※画面の作成期間は、夜間バッチ処理にて自動設定されます。



※Excel 用出力ボタンはシステムパラメータ「生産計画編集用 Excel ツール利用有無」で表示されます。

このボタンで出力されるCSVファイル(生産計画データとカレンダーデータ)をインポートに生産計画 Excel マクロを起動する事により Excel で画面と同様な設定が行えます。

また、その Excel から出力されたCSVファイルをインポートとしてアップロードが出来ます。このデータと Excel マクロを使用する場合は、システム管理者 (クオリカ) にご連絡下さい。



## 生産計画アップロード

作成を行なった生産計画情報に対しての変更（立案数変更、納期変更）やその他需要情報の登録・変更を一括登録で行ないます。

※「完全受注生産方式」の場合は、その他需要登録のみ可能です。

立案数更新は使用出来ません。

※その他需要情報は登録されている需要情報を全て洗い替え（全て削除後に全て登録）を行ないますので入力情報の過不足に注意下さい。

※立案数更新は更新機能のみです。品目単位の追加の場合はその他需要情報で品目追加を実施する様にして下さい。

※CSVレイアウトはオンラインヘルプを参照下さい。

